

光マルチパワーメータ 8 台接続用

Q8221

Q8221は、アドバンテスト社の商標です。

対象測定器	品番	GP-IBボード	価格	動作環境
4 台用	W32-Q82214-R	ラトックシステム社	85,000円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/Xp Excel2000 Excel2002/2003
	W32-Q82214-C	コンテック社		
	W32-Q82214-N	NI社		
8 台用	W32-Q82218-R	ラトックシステム社	145,000円 (消費税は含まれておりません。)	
	W32-Q82218-C	コンテック社		
	W32-Q82218-N	NI社		
使用できる機種 Q8221				

機能

指定された時間間隔でのデータ連続取込を行います
指定された時間間隔で、指定された回数のデータをリアルタイムでExcelシートに取り込みます。
最大 20 万回までの連続データの取り込みが可能です。

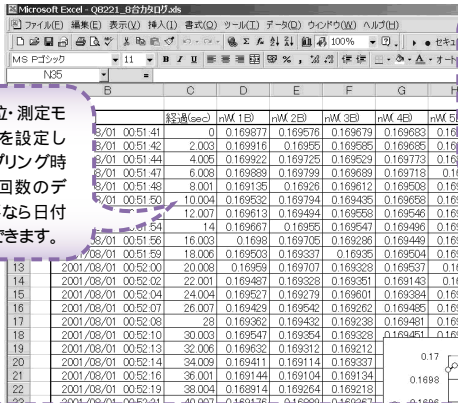
スポット測定モードで製品検査にも使用できます。

「SPOT」ボタンを押すごとに、表示値をExcelシートに取り込むことができますから、製品検査にも使用できます。

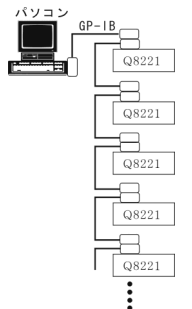


概要

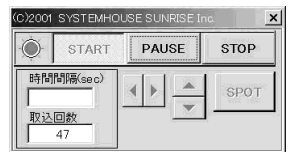
スタートすると、測定単位・測定モード・サンプルレート等を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定された回数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。



本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。
測定単位、測定モード、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。



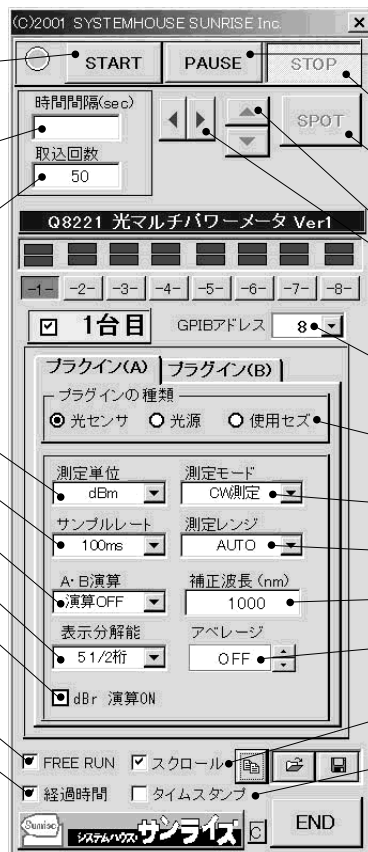
測定中はデータ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。



Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。
また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフィックで設定しておけば、データ取込とグラフィックがリアルタイムに行えます。
本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフィックを使用して作図してください。

操作説明

- 測定器からデータの取込を開始します。「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。「SPOT」ボタンが有効になり、「SPOT」をクリックするたびに、データが取込まれます。
- 測定の時間間隔を入力します。空欄またはゼロを入力すると、最速での取り込みになります。0から3,600秒の範囲で入力します。
- 取込回数を入力します。最大20万回まで入力できます。取込データが、Excelの最下行に到達すると、データは右側の列の先頭から入力されます。
- 測定する単位を設定します。
- サンプリングレートを設定します。
- 演算方法を設定します。
- 測定桁数を設定します。
- チェックをつけると、測定開始時に強制的にdB演算をONにします。しかし、チェックを外した場合は、現在のdB演算ONまたはOFFを継承します。
- 測定中測定器を「FREE RUN」に設定します。
- 測定データと同時に、開始からの経過時間もExcelに入力します。



- 連続測定中は、測定を一時中断します。中断中は「SPOT」ボタンが有効になりますから、「SPOT」ボタンでスポット測定ができます。再度「PAUSE」ボタンを押すと、連続測定モードに戻ります。「PAUSE」を最初に押した後、「START」ボタンを押すと、スポット測定モードになり、「SPOT」ボタンを押すごとに、データを取込みます。
- 測定を強制的に中止します。
- スポット測定モード、または、連続測定中の一時中断時に有効になります。このボタンをクリックすることに、1回だけデータを取込みます。
- Excelシート上のカーソルを移動しデータ取込開始位置を決定します。「START」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。
- 測定器側のGP-IBアドレスを設定します。
- 装着されているプラグインの種類を設定します。
- 測定モードを設定します。
- 測定レンジを設定します。
- 補正波長を入力します。
- アベレージ回数を設定します。
- 測定データが、常に画面上に見えるようにExcelシートを自動的にスクロールします。
- 測定データと同時に、日付時刻もExcelに入力します。

光源プラグインの設定

上がA、下がBのプラグインを表します。
 プラグインが、光センサ測定の場合は青色、光源の場合は赤色で表示
 されます。グレーの場合は、無視されるプラグインを表します。

「光源」を選択します。
 注)もし、プラグインが装着されていても、パソコンの制御対象から外し
 たい場合は「使用せず」を選択してください。

測定開始と共に、光源出力をONにしたい時にチェックを付けます。
 測定開始ボタンを押すとまず、光源プラグインの設定を行いONにし
 た後、光センサプラグインの設定を行います。

減衰量を入力します。

変調モードを設定します。

全ての測定条件をファイルに保存します。

測定条件をファイルから読み込みます。

1台目に設定した全ての測定条件を、
 2台目以降の測定器に全てコピーします。
 ただし、GP・IBアドレスはコピーしません。



測定結果例

